

SMIN サンライズなは商店街

未来 今 懐かしいあの頃を繋ぐ 事業

事業実施主体：新栄通商店街振興組合
事業実施箇所：沖縄県那覇市
商店街店舗数：80店舗

- サンライズなは商店街は、中心市街地の南側に位置し、約300メートルのアーケード内に、昔ながらの衣料品店や雑貨店、飲食店など80事業者が連なっている。現在は、店主の高齢化とそれに伴う廃業、建物の老朽化による解体など、古くからの店舗が撤退を余儀なくしている。
- 過去から潜在的にあった問題が、コロナ禍の影響により顕著に現れ深刻な状況となっている。誘客のため近隣地域へのPR力と発信力を強化することが何より必要である。

背景・課題

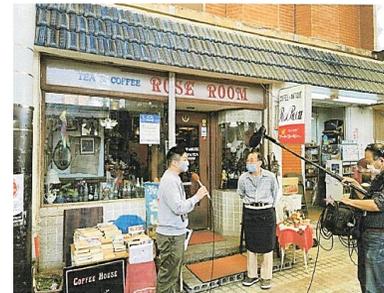
- ✓ 郊外型大型店の進出、ライフスタイルの多様化等社会情勢の変化やコロナ禍の影響で観光客が減り来街者が減少。
- ✓ 戦後の混乱から「新しく栄えていこう」と繁栄してきた商店街の過去や歴史を知ること、新たな魅力の再発見に繋がると共に地域への愛着をより高めてもらい来街者の増加へ繋がりたい。

取組内容

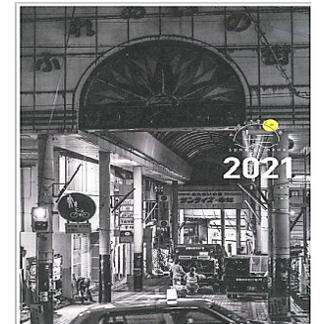
- ✓ カレンダー制作・配布(商店街の過去-現在の写真を収集し作成。自治会、近隣PTA、事業者及び行政機関へ配布。)
- ✓ アルバム制作・保存・配布(将来への継承のため一部保存。コミュニケーションツールとして事業者及び行政機関へ配布。)
- ✓ WEB・SNS・ラジオによる商店街のPR (商店街マップを掲載したHP構築、SNS開設、ラジオ生放送)

見込まれる効果等

- ✓ 商店街事業者のモチベーション向上と事業者同士のコミュニケーション回復による商店街の活性化。
- ✓ カレンダー・アルバムの地域配布による商店街魅力発信。
- ✓ WEBサイト、SNS開設による商店街からの定期的な情報発信。



←ラジオ生放送のようす



アルバム表紙→